

斎場表示システム

Display System for Funeral Halls

式場の各設備を自動割付し、会葬者の早着遅延に柔軟な対応ができる斎場表示システム

斎場表示システムは火葬の受付から終了までに利用する斎場設備（火葬炉、待合室、収骨室など）の自動割付と会葬者に対して式進行状況に応じた誘導案内を行うシステムです。

当社では、1996年に横浜市久保山斎場へ斎場表示システムを導入して以来、現在までに全国27斎場の導入実績があります。

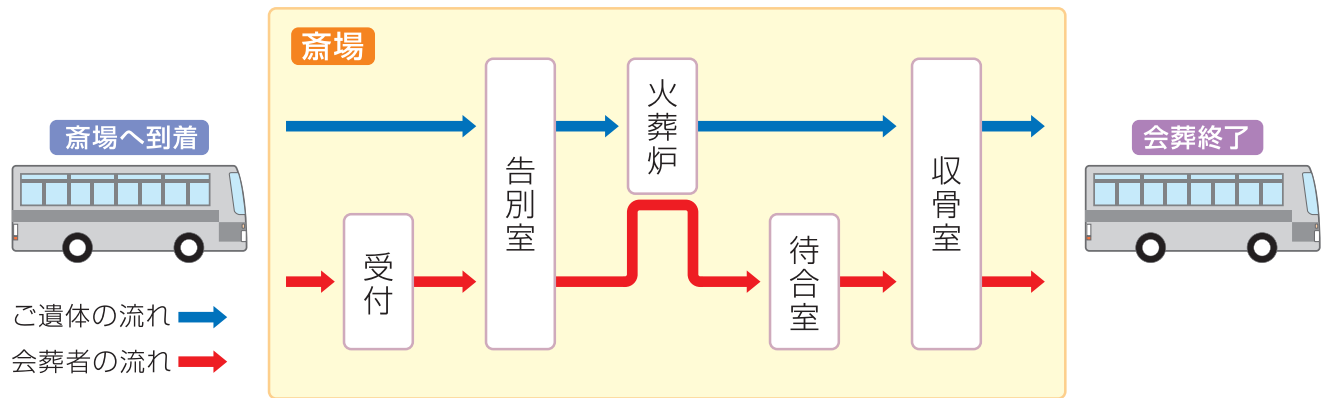


図1 会葬の流れ

構成

斎場設備の使用状況に応じた自動割付

会葬者が交通状況などの都合で、予約した時間より早く到着した場合や遅れて到着した場合でも、到着した時点において使用可能な火葬炉や待合室へ自動割付を行うため会葬者を待たせることなく、円滑に式を開始できます。

(特許：第4488515号)

会葬者の誘導案内

施設内における会葬者の導線上(図1の赤線部)に液晶ディスプレイを配置し、会葬者に対して、式の進行状況に応じた誘導案内を斎場職員に代わって自動的にを行います。

これにより、斎場職員の会葬者誘導対応の負担軽減を図ります。

収骨放送

お骨上げの準備が整い次第、液晶ディスプレイによる故人名の表示と、自動音声合成機能による収骨案内放送を行い、会葬者を収骨室へ誘導します。



導入実績

